

一次の四字熟語の□にあてはまる熟語をあと語群から選んで書きなさい。

(10点×8問)

(1) 悪戦あくせん 苦闘 ……死にもぐるいで困難に立ち向かうこと。

(2) 右往みぎおう 左往さおう ……混乱してあちこち走り回る様子。

(3) 一部いちぶ 始終 ……始めから終わりまでの全てのこと。

(4) 完全かんぜん 無欠 ……欠点のないこと。

(5) 質実しつじつ 剛健ごうけん ……飾りがなくまじめで、心がしっかりしていること。

(6) 取捨しゅしや 選択せんたく ……良いものは選び取り、悪いものは捨てること。

(7) 大胆だいたん 不敵ふてき ……ものおじしないこと。

(8) 付和ふわ 雷同らいどう ……一定の考えもなく、人の意見に賛成すること。

無欠 <small>むけつ</small>	付和 <small>ふわ</small>	右往 <small>うおう</small>	苦闘 <small>くとう</small>	大胆 <small>だいたん</small>	始終 <small>しじゅう</small>	質実 <small>しつじつ</small>	取捨 <small>しゅしや</small>
-----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

二次の文の内容に合う四字熟語を前の(1)～(8)から選び、□の中に漢字で書きなさい。

(10点×2問)

(1) 友人との待ち合わせ場所がわからず、

右往	左往
----	----

する。



(2) AさんはBさんに、昨日行われた練習試合の

一
部
始
終

 を話し

一次の四字熟語の□にあてはまる熟語をあの□から選んで書きなさい。

(10点×8問)

(1) 半信

半疑……半ば信じ、半ば疑うこと。

点

(2) 異口

……口をそろえて同じことを言うこと。

(3) 外柔

内剛……外見は優しそうだが心はしっかりしていること。

(4) 空前

……前後に例がないほど珍しいこと。

(5) 質疑

応答……質問と受け答え。

(6) 弱肉

強食……強い者が弱い者をつぶして栄えること。

(7) 神出

鬼没……自由自在に現れたり隠れたりすること。

(8) 晴耕

雨読

……晴れた日は耕し、雨の日は読書をする気ままな生活のこと。

神出

質疑

同音

絶後

弱肉

雨読

半信

外柔

二次の文の内容に合う四字熟語を前の(1)～(8)から選び、□の中に漢字で書きなさい。

(10点×2問)

(1) 父は、定年退職をしてから、

晴耕

の生活を満喫している。

(2) その場にいた人が

異口同音

に反対を唱えた。



一 次の四字熟語の□にあてはまる熟語をあの□から選んで書きなさい。(10点×8問)

(1) 意味が深く、含みのあること。

(2) 方針が立たず手探りであれこれ試みること。

(3) 互いの気持ちがあうこと。

(4) 結果には必ず原因があること。

(5) 自分の都合のよいように計らうこと。

(6) 身にしみて、心に深く感じること。

(7) 絶望的な状態から盛り返すこと。

(8) 疑う気持ちがあると、なんでも恐ろしくなること。

疑心	模索	回生	意气	感慨	応報	引水	深長
ぎしん	もさく	かいせい	いき	かんがい	おうほう	いんすい	しんちよう

二 次のAさんとBさんの会話を読み、()にあてはまる四字熟語を前の(1)～(8)から選んで、漢字で書きなさい。(20点×1問)

Aさん 「昨日の甲子園野球観た？」

Bさん 「観たよ！C高校対D高校の試合、白熱したね！」

Aさん 「そうそう！九回の表の時点でもう勝負は決まったと思ったよ。」

Bさん 「C高校六点、D高校が一点。D高校が勝つとは誰も思わないよね。」

Aさん 「うん。でも、九回の裏、D高校が巻き返したね。」

Bさん 「打撃陣の勢いが止まらなかった。一気に六点入れるなんて驚いたよ。」

Aさん 「まさに()起死回生()とはこのことだね。」



一 次の四字熟語の□にあてはまる熟語をあとの一から選んで書きなさい。

(1) 自画 自賛
 ……自分で自分のことをほめること。

(2) 時期 尚早
 ……ことを起こすには、時期が早すぎることを。

(3) 試行 行
 錯誤……失敗を重ねて、正しいものに近づくこと。

(4) 自業 自得
 ……自分の行いの報いを受けること。

(5) 事 実
 無根……真実に基づいていないこと。

(6) 縦 横
 無尽……思うとおりに自由をすること。

(7) 首尾 一貫
 ……始めから終わりまで、筋が通っていること。

(8) 適材 適所
 ……才能のある人をそれに適した所におくこと。

自得 試行 尚早 事実 自賛 一貫 適所 縦横

二 次のことわざと意味が似ている四字熟語を前の(1)～(8)から選び、□に漢字で書きなさい。(5点×4問)

(1) 餅は餅屋
 ※餅は餅屋のついたものが一番美味であることから。
 適材 適所

(2) 失敗は成功のもと
 ※失敗することによってやり方を改め、成功へと繋がることになることから。
 試行 錯誤

(3) 身から出た錆
 ※刀身から出た錆が、刀身を腐らせてしまうことから。
 自業 自得

(4) 手前味噌を並べる
 ※自家製の味噌を並べて、出来のよさを自慢し合ったことから。
 自画 自賛

10
 点

一 次の四字熟語の□にあてはまる漢字をあとの□から選んで書きなさい。

(10点×5問)

【ヒント】これらの四字熟語は、「反対の意味をもつ二字熟語」が重なって作られています。

(1)の問題は、「古」と「今」が反対の意味をもっています。では、東の反対は？

古↑↓今 東↑↓?

点

(1) 古今東 西

……昔から今までと、あらゆるところ。

(2) 栄 枯盛 衰

……盛んになったり衰えたりすること。

(3) 利 害 得 失

……利益と損害。得るものと失うもの。

(4) 離 合集 散

……離れたり集まったりすること。

(5) 老 若 男 女

……年齢や性別を問わず、全ての人のこと。

離 衰 西 害 若 栄 散 失 女

二 次の文の内容に合う四字熟語を一の(1)～(5)から選び、□の中に漢字で書きなさい。

(15点×2問)

(1) あの店は、 老 若 男 女 問わず、大勢の人でにぎわっている。

(2) そんな話は 古 今 東 西 聞いたことがない。

三 「盛者必衰」^{じょうしやひつすい}と意味の似ている四字熟語を一の(1)～(5)から選び、□の中に漢字で書きなさい。(20点×1問)

栄 枯 盛 衰

一次の四字熟語の□にあてはまる漢数字を書きなさい。(10点×10問)

【ヒント】次の漢字が入ります。

一 二 三 四 七 八 百 千 万

一つの四字熟語で同じ漢字が使われる場合もあります。

点

(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
千	千	千	百	八	七	四	三	二	一
変	載	差	発	方美人	転	苦	寒	者扱	進
万	一	万	百	八	八	四	一	一

退……進んだりもどったりすること。

……二つから一つを選ぶこと。

温……寒い日が三日、暖かい日が四日繰り返す冬の日候。

苦……ひどく悩み苦しむこと。

倒……転げまわって苦しみもだえる様子。

……誰にでも愛想良くふるまうこと。

中……すべて命中すること。

別……多くの種類があること。

遇……たいへん恵まれた機会。

化……さまざまに変わること。



二 () にあてはまる四字熟語を前の(1)～(10)からそれぞれ選び、漢字で書きなさい。(10点×3問)

佐藤さん 「A中学校もB中学校も、() 一進一退 () の目が離せない試合になったね。あつという間に九回の裏になっちゃった。」

田中さん 「B中の山本さんは、第一打席から全部ヒットで() 百発百中 () だもん。もしかしたら、さよならホームランもあり得るよ。」

佐藤さん 「こんな凄い試合を観戦できるなんて、() 千載一遇 () のチャンスだよ。」

一次の四字熟語には漢字の誤りがある。間違っている漢字を直して正しい四字熟語を書きなさい。また、(1)〽(8)の意味を下の選択肢から選び、記号で答えなさい。(9)、(10)の意味は辞書で調べて書きなさい。(5点×20問)

四字熟語

意味

点

(1) 絶対絶命

絶
体
絶
命

オ

(2) 無我無中

無
我
夢
中

イ

(3) 異句同音

異
口
同
音

ウ

(4) 意心伝心

以
心
伝
心

ク

(5) 危機一発

危
機
一
髪

ア

(6) 自我自賛

自
画
自
賛

カ

(7) 新機一転

心
機
一
転

キ

(8) 短刀直入

单
刀
直
入

エ

(9) 一朝一夕

一
朝
一
夕

(例) 短い期間。わずかな時日。

(10) 五里夢中

五
里
霧
中

(例) 迷って方角がわからないこと。どうしていいか判断がつかないこと。

ア 髪の毛一本ほどのわずかな違いで危険に追い込まれるという、危ない瀬戸際のこと。

イ 心をうばわれ、無意識的になだひたすら行動する様子。

ウ 多くの人がみな、口をそろえて同じことを言うこと。

エ 前置きや遠回りなことをせず、直接に要点に入ること。

オ どうしても逃れられない困難な場合、立場にあること

カ 自分で自分のことを誉めること。

キ ある動機をきっかけとして、すっかり気持ちがい方向に変わること。

ク 言葉によらず、互いの心から心に伝えること。

故事からうまれた四字熟語

ちようきんぼし

(例) 朝三暮四

故事…昔、ある人が、飼っている猿に「とちの実」を朝三個、夜四個やると言ったら猿が怒ったので、朝四個、夜三個やるといったら大喜びした。

意味…口先で人をごまかすこと。

用例…きみは人がいいから、朝三暮四のような言葉にだまされないようにね。

故事とは、昔あった事がらや、昔から伝わっている話のことだよ!



点

一 それぞれ、四字熟語にあう意味を下の□の中から選び、記号で答えなさい。

(10点×10問)

- (1) 竜頭蛇尾 りゆうとうだび
- (2) 温故知新 おんこちしん
- (3) 玉石混交 ぎよくせきこんこう
- (4) 呉越同舟 ごえつどうしゆう
- (5) 臥薪嘗胆 がしんしょうたん
- (6) 大器晩成 たいきばんせい
- (7) 四面楚歌 しめんそか
- (8) 五里霧中 ごりむちゆう
- (9) 切磋琢磨 せつさたくま
- (10) 羊頭狗肉 ようとうくにく

カ	ア	エ	ケ	オ	イ	コ	ウ	キ	ク
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ア よいものと劣つたものがまじりて区別がないこと。

イ 優れた器量の人は、年をとってから大成するということ。

ウ 迷つて、方針や見込みが立たないこと。

エ 過去から新しい知識を得ること。

オ 苦心や苦勞を重ねること。

カ 最初は勢いが盛んだが、最後には勢いがなくなること。

キ 仲間同士が互いに励まし合い、学問や人格の向上に努めること。

ク 見かけだけ立派で、実質がともなわれないこと。

ケ 仲の悪い者が、同じ場所に居合わせること。

コ 周りが敵ばかりであること。

それぞれの四字熟語の故事を調べてみよう!!



一 次の意味にあう故事成語をあとの□から選んで記号で答えなさい。

(10点×8問)

- (1) 世間知らず。ひとりよがり。狭い世界に閉じこもっているものには、広い視野や考え方はできないこと。
- (2) 苦しまぎれの計略・手段のたとえ。また、自分を犠牲にしてまでも、苦しい状況を脱しようとする事。
- (3) 目に見えない遠方の事物を知る能力、ものを透視する能力のこと。また、将来のことを予知する能力のこと。
- (4) 余計なものを付け加えること。あっても役に立たないもの。
- (5) どんなによいものでもわずかな欠点はあること。
- (6) 前後のつじつまが合わないこと。両立しないこと。
- (7) 不利益なこと、あるいは失敗をうまく処置し、工夫をこらすことによつて逆に成功・幸福のきっかけとってしまうこと。
- (8) 多くの人中で、才能がひとときわ優れていること。目立つようになること。

オ カ キ イ ク ウ エ ア

ア 井の中の蛙大海を知らず イ 玉に瑕 ウ 千里眼 エ 苦肉の策
 オ 頭角をあらわす カ 禍を転じて福となす キ 矛盾 ク 蛇足

二 () () にあてはまる故事成語を、前のア〜クから選び、短文を完成させなさい。(10点×2)

問

い。(1) 我が社も損害を被るが、(苦肉の策) で、こうするしか生き延びる術はない。

(2) 彼の言っていることは(矛盾)している。

点





二つ以上の言葉が決まった形で結びついて、ある特別な意味を表す言葉を「慣用句」といいます。

一 次の一線部が慣用句になるように、() にあてはまる体の部分を下の語群から選び、漢字に直して書き入れなさい。(8点×10問)

※弱点をつかれて、聞くのが辛い

(1) 先生の注意は自分にあてはまり、(耳) が痛い。
※責任や負担がなくなつて気が楽になる

(2) 実行委員長として文化祭を成功させ、(肩) の荷が下りる。
※相手の立派な様子に尊敬の気持ちをいだけ

(3) 部長の気配りにいつも (頭) が下がる。
※得意になる

(4) 彼は大会で優勝して、(鼻) を高くする。
※まったくかなわない

(5) 短距離走では、陸上部の彼に (歯) がたたない。
※他人の話に割りこむ

(6) 妹は、私と母の会話にいつも (口) をはさむ。
※ひと安心する

(7) 全員が無事だと聞き、(胸) をなでおろす。
※恥ずかしくて顔が真っ赤になる

(8) 解答を間違えてしまい、(顔) から火が出る。
※大変忙しい様子

(9) 年末は (目) が回る忙しさだ。

※決断する (腹) を決める。

(10) 多少の不安はあるが、サッカー選手を目指そうと (腹) を決める。

あたま かお はな
みみ め は くち
かた はら むね

二 (1)～(10)の慣用句の中から二つを選び、それぞれ短文を書きなさい。(10点×2問)
選んだ慣用句の番号

(1)

縦長の空白欄

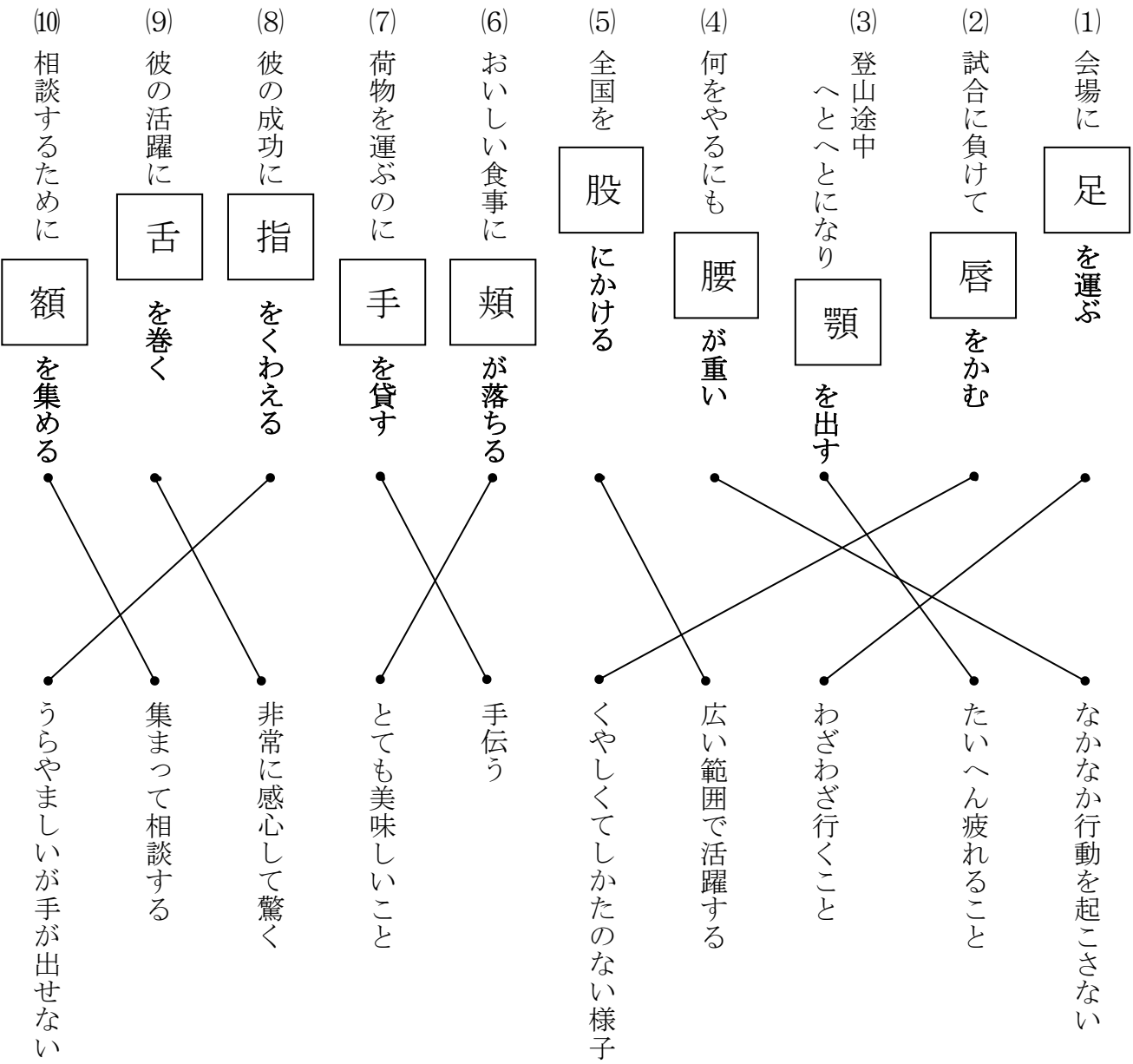
(2)

縦長の空白欄

一 □に体の一部を表す言葉を入れると慣用句が完成します。次の語群から探し□に書き入れなさい。また、慣用句に合う意味を下から選び線でつなぎなさい。(10点×10問)

額 くちびる 唇 ほお 舌 あご 頬 また 顎 腰 股 手指 足

点



別のシートに、慣用句を使った「短作文作り」があるよ。
 挑戦してみよう!

一次の線部が慣用句になるように、() にあてはまる動物の名前を書きなさい。また、それぞれの意味を下の語群から探し、□に記号を書きなさい。(10点×8問)

(1) 彼とは、幼い頃から (馬) () が合う。

(2) 犯人はもう袋の (ねずみ) () だ。

(3) (牛) () の歩みのような道路渋滞だ。

(4) 友達に言った一言は、やぶ (へび) だった。

(5) あの二人は、昔から犬 (猿) () の仲だった。

(6) あの時は、(とら) () の尾を踏む心地だった。

(7) 彼は飛ぶ (鳥) () を落とす勢いで出世した。

(8) (犬) () も食わない夫婦喧嘩。

ア

エ

ク

オ

ウ

カ

キ

イ

十二支動物が



- ア 誰もとり合わないこと
- イ 相手とよく気が合うこと
- ウ 余計なことをして、かえって悪い結果を招くこと
- エ 権力や威勢が盛んな様子
- オ 仲の悪いこと
- カ 進む速度の遅い様子
- キ 追いつめられて逃げる場がない様子
- ク 非常に危険を冒すことのとえ

点

二 (1)~(8)の慣用句の中から二つを選び、それぞれ短文を書きなさい。(10点×2問)

選んだ慣用句の番号

(1)

(2)

一次の□には生き物の名前が入ります。意味を参考にし、下の語群から適切な言葉を選び、慣用句を完成させなさい。(8点×10問)

(1) 烏 の行水……入浴時間が非常に短いこと。

(2) 狐 につままれる……さっぱりわからないこと。

(3) 猫 も杓子しゃくしも……だれも彼も。どんなものもすべて。

(4) 雀 の涙……ほんのわずかであること。

(5) 蟻 のはい出るすきもない……少しのすき間もないほど警備が厳しい。

(6) 鶇 のみにする……人の言葉をよく考えないで、そのまま受け入れてしまうこと。

(7) おうむ 返し……相手の言った通りに言い返すこと。

(8) 鳩 が豆鉄砲を食ったよう……突然のことに驚いてびっくりする様子。

(9) 蜘蛛 の子を散らす……大勢のものがあちこちに逃げていく様子。

(10) 狸 寝入り……眠っているふりをすること。

点

あり	はと	たぬき	からす
蟻	鳩	狸	烏
きつね		ねこ	すずめ
狐		猫	雀
う	くも		
鶇	蜘蛛	おうむ	

二 (1)～(10)の慣用句の中から二つ選び、それぞれ短文を作りなさい。(10点×2問)
 選んだ慣用句の番号

(1)

(2)

一 次の一線部が慣用句になるように、() にあてはまる自然に関する言葉を下の語群から選び書き入れなさい。ただし、二度用いる言葉がありません。(8点×10問)

※目の前の問題さえ片付けてしまえば後はどうなるかと知ったことではない

(1) あとは () 野 () となれ () 山 () となれという心境だった。

※性質や行いがずるくて、仲間としてあつかえない

(2) 彼は () 風 () 上にも置けないやつだ。

※目下の者をひどくどなりつける

(3) 約束を破り、父の () 雷 () が落ちた。

(4) 苦労のかいもなく、水の () 泡 () となる。
※それまでの努力が、すべてむだになること

(5) 彼女の話は () 雲 () をつかむような話だ。
※はっきりしないでとぼえどころがない

(6) 部員の一言が、部内に () 波 () 風をたてる。
※もめごとが起きる

(7) 彼の対応は、() 薄氷 () を踏むような危うさだ。
※失敗しそうで、びくびくする気持ち

(8) ※突然、華やかに現れる様子
() 彗星 () のごとく現れた新人作家。

(9) ※根拠のない勝手な予想をする
() 山 () をはってテスト勉強を進めた。

(10) 今までのことは全て () 水 () に流そう。
※それまでの争いごとやうらみなどを、すべてなかったことにする

二 (1)～(10)の中から慣用句を二つ選び、それぞれ短文を書きなさい。(10点×2問)
選んだ慣用句の番号

(1)

(2)

点

山 水 野 風 雲 波
雷 泡 薄氷 彗星

一次の各組の () に共通して入る言葉を後の語群から探し、□に記号で書きなさい。

(10点×6問)

点

- (1) () の額 ……土地などが非常に狭いこと。
- () の目 ……非常に変化しやすいことのたとえ。

ウ

- (2) () をもたせる ……相手に勝ちや名誉などをゆずる。
- () が咲く ……にぎやかになる。時期が来て栄える。

イ

- (3) () の知らせ ……なんとなく予感する。
- () の息 ……呼吸が弱々しく今にも死にそうな様子。

ア

- (4) () のみにする ……物事を十分理解せずに受け入れること。
- () の目鷹の目 ……熱心にものを探し出そうとする様子。

カ

- (5) () をひそめる ……表面上、姿を隠すこと。
- () も形もない ……何のあとかたもない。

オ

- (6) () にくれる ……悲しみのあまり泣き続ける。
- () を飲む ……勝負に負けること。

エ

ア 虫 イ 花 ウ 猫 エ 涙 オ 影 カ 鶴つる

二 (1)～(6)の慣用句の中から、二つ選びそれぞれ短文を書きなさい。(20点×2問)

(1)

(2)

一 似た意味をもつ慣用句を下から選び、記号で答えなさい。(5点×10問)

(1) 挙げ句の果て (イ) () ア 気がとがめる

(2) 気がひける (ア) () イ とどのつまり

(3) やぶから棒 (エ) () ウ 猫の手も借りたい

(4) 手が足りない (ウ) () エ 寝耳に水

(5) 口をとがらす (オ) () オ 口をへの字に曲げる

(6) 腹を抱える (キ) () カ 頭の回転が速い

(7) 頭が切れる (カ) () キ 腹の皮がよじれる

(8) 茶々を入れる (ク) () ク 横やりを入れる

(9) 目が高い (コ) () ケ 懐ふところが寒い

(10) 懐ふところが寂しい (ケ) () コ 目が利く

二 反対の意味をもつ慣用句を下から選び、記号で答えなさい。(5点×10問)

(1) 顔が立つ (イ) () ア 地に足がつく

(2) 浮き足立つ (ア) () イ 面目を失う

(3) 幕が下りる (ウ) () ウ 幕が上がる

(4) 言葉を尽くす (オ) () エ 奥歯に物がはさまったよう

(5) 歯きぬに衣着せぬ (エ) () オ 筆舌ひっせつに尽くしがたい

(6) 手を貸す (カ) () カ 手を借りる

(7) 口がかたい (ク) () キ 手を結ぶ

(8) 手を切る (キ) () ク 口が軽い

(9) 手が届く (コ) () ケ 耳をふさぐ

(10) 耳を貸す (ケ) () コ 手が出ない

点

一 慣用句には「気が(を)〜」という形で使われるものがあります。

() () に入る最も適切な言葉を下の語群から選び書き入れなさい。

(10点×8問)

点

※ふさぎこんでゆううつになる

(1) 雨の日が続き、気が () めいる。

※心が集中できない

(2) テレビを付けながら勉強すると、気が () 散る。

※不愉快に思う

(3) 弟は、気に () 障る () ことを何度も私に言う。

※遠慮する気持ち

(4) 仕事で忙しい仲間^に用事を頼むのは、気が () ひける。

※気分が安らかになる

(5) 忙しい父は、気が () 休まる () 時がない。

※細かい所まで注意をゆきわたらせる

(6) 保育園実習で幼い子の動きに気を () 配る。

※遠慮したりしないで気楽に付き合える

(7) 彼は幼なじみなので、気が () 置けない。

やでの
間違い
注意。
間す

きく 配る 散る 障る^{さわ} ひける めいる 休まる 置けない

※細かいところまで心がゆき届く

(8) いつも決まった時間にお茶を入れてくれるなんて、気が () きく () 人だ。

二 次の慣用句を使って短文を作りなさい。(10点×2問)

(1) 「気が置けない」

Blank box for writing the answer to question 1.

(2) 「気がとがめる」※自分のしたことを悪かったと思い、後ろめたさを感じるこ

Blank box for writing the answer to question 2.

一 慣用句の中には、感情や態度を表すものがあります。後の語群から適切なものを選び、慣用句を完成させなさい。【】は慣用句が表している感情や態度を示しています。(5点×20問)

点

- | | | | |
|---------------------------------------|-------|-------------------------------------|-------|
| (1) 心血 <small>しんけつ</small> を (注ぐ) () | 【熱中】 | (11) (気) () を使う | 【心配】 |
| (2) 寝食を (忘れる) () | 【熱中】 | (12) 肘 <small>ひじ</small> を (張る) () | 【いばる】 |
| (3) 心を (奪われる) () | 【熱中】 | (13) あごで (使う) () | 【いばる】 |
| (4) 手を (貸す) () | 【助ける】 | (14) 腹が (立つ) () | 【怒り】 |
| (5) 一肌 <small>ひとはだ</small> (脱ぐ) () | 【助ける】 | (15) 眉を (ひそめる) () | 【不快】 |
| (6) 見切りを (つける) () | 【断念】 | (16) 頬を (ふくらます) | 【不満】 |
| (7) さじを (投げる) () | 【断念】 | (17) (鼻) () にかける | 【自慢】 |
| (8) 目を (丸くする) () | 【驚き】 | (18) 目が (回る) () | 【多忙】 |
| (9) (目) () を見張る | 【驚き】 | (19) 足が (棒) () になる | 【疲労】 |
| (10) (胸) () をなでおろす | 【安心】 | (20) (腰) () が低い | 【謙虚】 |

気 目 鼻 胸 腰 棒 ふくらます
 投げる 張る 注ぐ ひそめる 忘れる
 丸くする つける 奪われる 立つ
 脱ぐ 使う 貸す 回る

【謙虚】は、ひかえ目でつつましいという意味だよ。

一次の文において、どちらの言葉を使うのが正しいですか。
 正しい方の言葉を○で囲みなさい。(8点×10問)

※大事なところを正しくとらえる

(1) あなたの言い分は、**的を** (射て) / 得て () いる。

※冷やかでつっけんどんさま

(2) 彼はせっかちな性格なので、**取りつく** () 暇 (島) () がない。

※相手の話の調子をあわせる

(3) 彼女はいつも**相づちを** (打ち) / 入れ () ながら話を聞く。

※大切に育てる

(4) **手塩に** () ふって () **かけて** () 育てた朝顔。

※激しく競う

(5) 優勝をかけて**しのぎを** () きる () **けずる** () 。

※無駄なおしやべりをして仕事や用事をなまける

(6) そんなところで**油を** (売って) / **しぼって** () ないで早く宿題をしなさい。

※ありったけの知恵を出して考える

(7) 他によい案がないか**知恵を** () つける () **しぼる** () 。

※わずかな暇をも惜しんで努力する様子

(8) **寸暇を** () **惜しんで** () 惜しまず () 勉強する。

※気持ちをひきしめる

(9) **襟を** () 折って () **正して** () 会議に出席する。

※あきれたり驚いたりして何か言おうとしても次の言葉が出てこない

(10) 彼の言い訳に**二の句が** () 出ない () **継がない** () 。

二次の慣用句を用いた書き出しに続く表現を下から選び、線でつなぎなさい。

(5点×4問)

(1) 火がついたように () うれしい知らせが届いた。

(2) 水を打ったように () 赤ん坊が泣き出した。

(3) 天にもものぼるような () 静まり返った教室。

(4) 砂をかむような () 味気ない食事。

「砂をかむような」は、
 味わいやおもしろみが
 全くないというたとえ

点

のが句
 のが句
 字分用
 太部慣

昔から人々の間で言いならわされてきた言葉。教訓や知恵、風刺ふうしなどを含むことが多い。



ことわざ

一 ことわざには、生き物が多く登場します。次の () () に当てはまる生き物を後の語群から選び答えなさい。(10点×5問)

(1) (馬) の耳に念仏…いくら意見をしてもききめがないこと。

点

(2) えびで (鯛) を釣る…わずかな資本や努力で大きな利益を得ること。

(3) (亀) の甲より年の功…年長者の意見は尊重し聞き入れるものだということ。

(4) (魚) 心あれば水心…相手の出方しだいでこちらにも応じ方があること。

(5) 能ある (鷹) は爪つめをかくす…本当に実力や才能のある人は、やたらにそれを見せびらかしたりはしない。

- 亀 かめ
- 馬
- 鷹 たか
- 魚
- 鯛 たい

二 次の () () には、一の(1)～(5)のいずれかのことわざが入ります。あてはまることわざを () () に書き入れなさい。(10点×5問)

(1) 担当者がいくら熱心に語っても (馬) の耳に念仏、
彼はまったく仕事をしない。

(2) 彼は、ギターも弾けるなんて (能ある鷹は爪をかくす) だね。

(3) こちらから積極的に関われば、(魚心あれば水心) で、
手も親しみをもってくれるものだ。

(4) (亀の甲より年の功) で、色々なことに詳しい祖父は
さすがだ。

(5) 祖母に遠足のお土産を持って行ったら、高級菓子をお返しにもらい、
(えびで鯛を釣る) 結果になってしまった。

一 () () に入る言葉を後の語群から選び、ことわざを完成させなさい。
(8点×10問)

点

(一) 頭隠して (尻) (隠さず) … 欠点や悪事は

決して隠し切れない。

(二) 雨降って (地) (固まる) … いざこざが起こった後、

物事がかえって落ち着きおさまること。

(三) うそから出た (まこと) … うそのつもりで言ったことが意外な結果に
なること。

(四) (背) (に腹はかえられぬ) … せつぱつまった時は、他をかえりみる
ゆとりがないこと。

(五) ちりも積もれば (山) (となる) … どんなにわずかな物でも、積もり積もれば
大きな物になる。

(六) 帯に短し (たすき) に長し … 中途半端で役に立たないこと。

(七) 壁に耳あり (障子) (に目あり) … 密談のもれやすいこと。

(八) (弱り) (目にたたり目) … 運の悪い時にまた運の悪いことが重なること。

(九) 聞いて極楽見て (地獄) (… 話を聞いたことと、自分で見たことでは
大きな違いがあるということ。

(十) 暑さ (寒さ) (も彼岸まで) … 暑さは秋の彼岸、寒さは春の彼岸までで、
それを過ぎると過ごしやすい気候になる。

地 尻^{しり} 山 背 障子 寒さ
弱り 地獄 たすき まこと

二 (1)～(10)の中から二つ選び、それぞれ短文を作りなさい。(10点×2問)

選んだことわざの番号

(2)

一 () () に入る言葉を後の語群から選び、ことわざを完成させなさい。

(8点×10問)

点

㉔ 論より (証拠) ……いろいろな議論するよりも、

確かな証拠が何よりも必要だ。

㉕ 知らぬが (仏) ……知ればこそ腹も立つが、知らないから平気でいられること。

㉖ 転ばぬ先の (杖) ……失敗しないように前もって用心すること。

㉗ 人事を尽くして (天命) を待つ……人間の力でできることは全部やりつくして、

あとは運命にまかせること。

人間の力でできること

㉘ 立つ (鳥) (あとを濁さず……その場を去る者は、最後まできちんと始末して

おくべきである。

㉙ 棚から (ぼたもち) ……思いがけない幸運にめぐりあうこと。

こぼれた水

㉚ 覆水 (盆) に返らず……いったんやってしまったことは、取り返しがつかないこと。

㉛ (石橋) をたたいて渡る……用心の上にも用心を重ねる。

㉜ のどもと過ぎれば、 (熱さ) を忘れる……苦しかったことも、

その時が過ぎれば忘れてしまうこと。

㉝ 豚に (真珠) ……どんなに貴重なものも、値打ちのわからない者には

与えても無駄だということ。

ぼたもち 鳥 杖 仏 盆 真珠
石橋 熱さ 証拠 天命

二 (1)～(10)の中から二つ選び、それぞれ短文を作りなさい。(10点×2問)
選んだことわざの番号

(2)

(2)

一 下の選択肢から似た意味をもつことわざを探し、線でつなぎなさい。
(10点×4問)

(1) 河童かっぱの川流れ

弱り目にたたり目

(2) 虻蜂取らずあぶはち

おぼれる者はわらをもつかむ

(3) 泣きつ面にはち

二兎追うものは一兎いっぴをも得ず

(4) 苦しい時の神頼み

猿さるも木から落ちる

点

二 下の選択肢から反対の意味をもつことわざを探し、線でつなぎなさい。

(10点×4問)

(1) 渡る世間に鬼はなし

善は急げ

(2) 鳶とびが鷹たかを生む

人を見たら泥棒と思え

(3) 立つ鳥跡を残さず

旅の恥はかき捨て

(4) 急がば回れ

蛙かえるの子は蛙

三 一のことわざの中から一つ選び、短文を作りなさい。(10点×1問)

Blank box for writing an answer to question 3.

四 二のことわざの中から一つ選び、短文を作りなさい。(10点×1問)

Blank box for writing an answer to question 4.

一【例題】のように間違った漢字に変換されたことわざを正しく直しなさい。誤っている部分に線を引き、正しい漢字を書きなさい。
(9)(10)の問いは、間違いが二か所あります。 (10点×10問)

【例題】案ずるより産むが安し (心配しているよりも、
易 実際をやってみると案外たやすくできる)

点

(1) 馬子にも衣装 (どんな人でも外面を飾れば立派に見えるものだ)

「馬子」は荷や人を
のせた馬を引いて歩
く人のことです。

(2) 家宝は寝て待て (幸運はあせらずに待つのがよい)

(3) 脳ある鷹は爪を隠す (本当に才能のある人は、やたらに見せびらかさない)

(4) 東大下暗し (手近なことの方がかえってわかりにくいというたとえ)

(5) 短気は損気 (短気を起こすと物事は不成功に終わること)

(6) 家中の栗を拾う (他人の利益のために危険を冒すこと)

(7) 言わぬが鼻 (口に出して言うよりも、いわずに想像させるほうが
花 味わいがある。「言う」と損だよ」と忠告する意味にも使う)

(8) 苦しい時の上頼み (普段は神仏を信じないで人でも、苦しい時には神や仏に
神 すがろうとすること)

(9) 胃の中の蛙大会を知らず (自分だけの狭い範囲の知識や見解にとらわれて、
井 海 大局に立つてものを見ないこと)

(10) 郷に入っては郷に従え (新しい土地で暮らすためには、その土地の習慣に
郷 郷 従うのがよいということ)

一次のことわざの意味に最も近い熟語を下の語群から選び、記号で答えなさい。(10点×8問)

(1) 月とすっぽん

(2) 石の上にも三年

(3) 善は急げ

(4) どんぐりの背比べ

(5) 人のふり見て我がふり直せ

(6) 長いものには巻かれよ

(7) 石橋をたたいて渡る

(8) 亀の甲より年の功

イ

カ

ウ

キ

ア

オ

ク

エ

ア 反省

イ 大差

ウ 好機

エ 尊敬

オ 服従

カ 辛抱

キ 同等

ク 慎重

点

二 (1)～(8)のことわざの中から二つ選び、それぞれ短文を作りなさい。(10点×2問)
選んだことわざの番号

(1)

(2)

一 次のことわざの意味を下の選択肢の中から選び、() に記号で答えなさい。(8点×10問)

点

(1) 縁の下の力持ち (カ)

にとん
会この学
機のを

(2) 善は急げ (ク)

このくざ
こ多わ

(3) 火のない所に煙は立たぬ (ウ)

ア 自分で原因をつくって、そのために悪い結果を招くこと。

(4) 類は友を呼ぶ (ケ)

イ 労力のみで効果のないこと。

ウ うわさにのぼるからには何か原因があるはずだということ。

(5) 鬼に金棒 (コ)

エ 一事で全てが推察できること。

オ 他人の行いの善悪を見て、自分を反省すべきである。

(6) 一難去ってまた一難 (キ)

カ 他人のために、人目につかない所で努力をし続ける人のこと。

(7) 身から出た錆さび (ア)

キ 災難が次々と襲ってくること。

(8) 一事が万事 (エ)

ク 良いことはためらわずにすぐ行うべきだ。

(9) 人のふり見て我がふり直せ (オ)

ケ 気の合うものや似たものは自然と集まるものである。

(10) 焼石に水 (イ)

コ ただでさえ強いのに、助けを得てさらに強くなること。

二 (1)〜(10)の中から二つを選び、それぞれ短文を作りなさい。(10点×2問)
選んだことわざの番号

(1)

(2)

一 次の各組の中に、一つだけ記されている意味とは異なるものがあります。その記号を○で囲みなさい。(10点×2問)

(1) その道に優れているものでも、場合によっては得意とすることで失敗することがあるというたとえ。

点

ア 猿も木から落ちる イ 上手の手から水がもれる

ウ 河童の川流れ

エ

良薬は口に苦し

オ 弘法にも筆の誤り

※人の忠告は聞くのがつらいが、結局は自分のためになる

(2) いろいろと働きかけても何の手ごたえも効き目もない様子のたとえ。

ア ぬかに釘

イ 豆腐にかすがい

ウ のれんに腕押し

エ 沼に灸

オ 猫に小判

※どんな立派なものでも、価値がわからない人には、何の役にもたたないこと

二 次のことわざの意味として適切なものに○を付けなさい。(10点×8問)

イネ科の植物

(1) 濡れ手で粟 あわ () () () 苦勞せず利益を得ること。

() () () 一生懸命働き、利益を得ること。

(2) 枯れ木も山のにぎわい () () つまらないものでも、ないよりはましである。

() () 人が集まり、にぎやかな様子。

(3) 情けは人のためならず () () 情けはその人のためにならないから、かけない方がよい。

() () () 人に情けをかけておけば、それがめぐってやがて自分にいいことが回ってくる。

(4) 後悔先に立たず () () 物事が済む前に悔やんでも仕方がないこと。

() () () 物事が済んだ後に悔やんでも仕方がないこと。

(5) 住めば都 () () () 住み慣れれば、どんな所でもよさがあること。

() () () 住むのであれば、都会のほうがよいこと。

(6) かわいい子には旅をさせよ () () () 子がかわいければ親の手元で甘やかさず

世の中に出して苦勞させた方がよい。
() () () 子が望めば、無理にでも旅に出すべきだ。

(7) 二階から目薬 () () () まわりくどくて効き目がないこと。

() () () やってみる価値があること。

(8) 悪事千里を走る () () () 悪人はいつまでも生き延びるものだ。

() () () 悪いうわさはたちまち世間に知れ渡る。

一 () に漢数字を入れてことわざを完成させなさい。また下の選択肢からは、ことわざの意味を選び□に記号で答えなさい。(8点×10問)

(1) 人のうわさも (七十五) 日

(2) (三) つ子の魂 (百) まで

(3) (九) 死に (一) 生を得る

(4) (三) 人寄れば文殊もんじゆの知恵

(5) (千) 里の道も (一) 歩から

(6) (一) 寸先は闇

(7) 早起きは (三) 文の徳

(8) 石の上にも (三) 年

(9) (一) を聞いて (十) を知る

(10) (百) 聞は (一) 見にしかず

ア イ コ オ エ ウ キ カ ケ ク

ア うわさは長続きしない。

イ おさない時の性質は一生変わらない。

ウ 将来は全く予測できないこと。

エ 大きな事柄であってもまず手近なことから始めなければならぬこと。

オ 話し合えばよい考えが浮かぶこと。

カ 辛抱すればいつかは成功する。

キ 早起きをするとなんらかの利益があること。

ク 何度か話で聞くよりも実際に自分の目で見た方が理解できること。

ケ たいへんものわかりがよい。

コ 助からないだろうと思われた危険な状態から奇跡的に生き延びること。

点

二 (1) (10)の中から二つを選び、それぞれ短文を作りなさい。(10点×2問)
選んだことわざの番号

(1) □

□

(2) □

□

一 次の①～②⑩(上の段)に続く言葉を、左側のグループ②①～④⑩(下の段)から選び、ことわざを完成させ、解答欄に番号を書きなさい。

(5点×20問)

上の段

① 親しき中にも

② 目は口ほどに

③ 渡る世間に

④ 口は

⑤ 火中の

⑥ 隣の芝生は

⑦ 好きこそ

⑧ 習うより

⑨ 人の口には

⑩ 旅の恥は

⑪ 楽あれば

⑫ 人の振り見て

⑬ 二度あることは

⑭ 花より

⑮ 恩を

⑯ 言わぬが

⑰ 井の中の蛙

⑱ 勝って

⑲ 短気は

⑳ かわいい子には

下の段

意味のわからないことわざは、進んで調べよう。

㉑ 物を言う

㉒ かぶとの緒をしめよ

㉓ 花

㉔ 旅をさせよ

㉕ 苦あり

㉖ 損気

㉗ あだで返す

㉘ 我が振り直せ

㉙ 青い

㉚ 戸は立てられぬ

㉛ 礼儀あり

㉜ 慣れろ

㉝ 栗を拾う

㉞ 団子

㉟ 鬼はなし

㊱ かき捨て

㊲ ももの上手なれ

㊳ 大海を知らず

㊴ 災いのもと

㊵ 二度ある

②⑩	①⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①												
②④	①⑥	⑧②	⑦③	⑥⑤	④⑩	③⑨	②⑤	①④													

点

一 次の□にあてはまる漢字を答えなさい。(5点×5問)

ア 似た意味をもつ漢字の組み合わせ。

(例) 停まる || 止まる . . . (1)

停
止

点

イ 反対の意味をもつ漢字の組み合わせ。

(例) 強い ⇕ 弱い . . . (2)

強
弱

ウ 主語と述語の関係になる漢字の組み合わせ。

(例) 頭が ↓ 痛い . . . (3)

頭
痛

エ 下の漢字が上の漢字の目的や対象を表す漢字の組み合わせ。

(例) 洗う ↑ 顔を . . . (4)

洗
顔

オ 上の漢字が下の漢字を修飾する漢字の組み合わせ。

(例) 激しく ↓ 増える . . . (5)

激
増

二 次の二字熟語の構成にあてはまるものを一のア～オから選び、記号で答えなさい。(5点×12問)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| (1) 市営 (ウ) | (2) 作文 (エ) | (3) 新旧 (イ) |
| (4) 出発 (ア) | (5) 温暖 (ア) | (6) 握手 (エ) |
| (7) 確認 (オ) | (8) 船出 (ウ) | (9) 登山 (エ) |
| (10) 日照 (ウ) | (11) 善悪 (イ) | (12) 曲線 (オ) |

三 次のそれぞれの二字熟語の構成の中に、組み合わせの違うものが一つあります。それを選び、記号に○を付けなさい。(5点×3問)

- | | | | |
|----------|------|------|------|
| (1) ア 道路 | イ 幸福 | ウ 移動 | エ 実行 |
| (2) ア 往復 | イ 絵画 | ウ 苦楽 | エ 開閉 |
| (3) ア 乗車 | イ 必要 | ウ 予定 | エ 独立 |

一 次の□にあてはまる漢字を書きなさい。(5点×3問)

ア 前の漢字が打ち消しの意味を表す漢字の組み合わせ。

(例) 無 + 理 . . . (1)

無	理
---	---

点

イ 補助的な意味をあとにつけた漢字の組み合わせ。

(例) 美 + 化 . . . (2)

美	化
---	---

ウ 長い熟語が省略された漢字の組み合わせ。

(例) 学生割引 . . . (3)

学	割
---	---

二 次の二字熟語の構成にあてはまるものを一のア〜ウから選び、記号で答えなさい。
(5点×10問)

(1) 強化 (イ) (2) 入試 (ウ) (3) 未熟 (ア)

(4) 特急 (ウ) (5) 否決 (ア) (6) 様式 (イ)

(7) 非常 (ア) (8) 不幸 (ア) (9) 劇的 (イ)

(10) 国連 (ウ)

三 打ち消しの意味を表す「不・無・未・否」のいずれかを□に書き入れて、熟語を完成させなさい。
(5点×4問)

(1) 未 来

(2) 無 限

(3) 不 安

(4) 否 認

四 「的・化・性」のいずれかを□に書き入れて、熟語を完成させなさい。(5点×3問)

(1) 急 性

(2) 緑 化

(3) 端 的

一次の□にあてはまる漢字を答えなさい。(5点×4問)

点

◆一字の語の集まりから成る漢字の組み合わせ

ア(例) 衣 + 食 + 住 . . . (1)

衣
食
住

◆漢字一字の語と二字熟語の組み合わせ

イ 上の語が下の語の性質・状態等を限定するもの。

(例) 公 . . . (2)

公
文
書

ウ 上の語が下の語を修飾して物事の名前になるもの。

(例) 運動 . . . (3)

運
動
会

エ 上の語が下の語を打ち消すもの。

(例) 不 + 安定 . . . (4)

不
安
定

オ 上の語に下の語の意味をそえて、様子や状態を表すもの。

(例) 自動 + 化 . . . 自動化

二次の三字熟語の構成にあてはまるものを一のア〜オから選び、記号で答えなさい。(5点×12問)

(1) 大中小 (ア) (2) 動物園 (ウ) (3) 無責任 (エ)

(4) 雪景色 (イ) (5) 市町村 (ア) (6) 合理的 (オ)

(7) 披露宴 (ウ) (8) 松竹梅 (ア) (9) 可能性 (オ)

(10) 新發明 (イ) (11) 未確認 (エ) (12) 和太鼓 (イ)

三次の三字熟語と同じ構成のものを一つずつ選び、記号に○を付けなさい。(5点×4問)

(1) 新校舎

ア 自発的 (イ) 走攻守 (ウ) 保健室 (エ) 県知事

(2) 上中下

ア 初対面 (イ) 無関心 (ウ) 心技体 (エ) 共通語

(3) 必需品

ア 陸海空 (イ) 近代化 (ウ) 解答欄 (エ) 好景気

(4) 不公平

(ア) 非常識 (イ) 雪月花 (ウ) 弁護士 (エ) 低気圧

一 次の熟語の構成と同じ構成の熟語をあとのもので二つ選び、それぞれ漢字で答えなさい。(6点×5問)

から二つ選び、

点

(1) 善悪 (売買) ・ 前後 ()

(2) 日没 (雷鳴) ・ 国立 ()

(3) 絵画 (搭乗) ・ 思考 ()

(4) 兼業 (帰郷) ・ 就職 ()

(5) 激増 (逆流) ・ 熱心 ()

逆流	雷鳴	売買	搭乗	帰郷
熱心	就職	国立	前後	思考

二 次の漢字に「不・無・未・非」のいずれかを付けて、熟語を完成させなさい。

(5点×8問)

(1) (未) 開 (2) (非) 行 (3) (無) 欲

(4) (不) 利 (5) (無) 名 (6) (不) 朽

(7) (非) 番 (8) (未) 来

三 次の漢字に「的・性・化」のいずれかを付けて、熟語を完成させなさい。

(5点×6問)

(1) 水 (性) (2) 鈍 (化) (3) 私 (的)

(4) 有料 (化) (5) 比較 (的) (6) 妥当 (性)

一 次の熟語の構成にあてはまるものをあとの選択肢のア〜カから選び記号で答えなさい。(5点×12問)

点

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 縮小 (オ) | (2) 急行 (カ) |
| (3) 不足 (エ) | (4) 腹痛 (ア) |
| (5) 賛否 (ウ) | (6) 速報 (カ) |
| (7) 開会 (イ) | (8) 公設 (ア) |
| (9) 山岳 (オ) | (10) 挑戦 (イ) |
| (11) 否定 (エ) | (12) 強弱 (ウ) |

- | | |
|------------|----------------------|
| ア 主語と述語の関係 | イ 下の漢字が上の漢字の目的や対象を表す |
| ウ 反対の意味をもつ | エ 上の漢字が打ち消しの意味を表す |
| オ 似た意味をもつ | カ 上の漢字が下の漢字を修飾する |

二 次の略語を正式な形に直しなさい。(10点×4問)

(1) 通販

通	信	販	売
---	---	---	---

(2) 入試

入	学	試	験
---	---	---	---

(3) 文科省

文	部	科	学	省
---	---	---	---	---

(4) 選管

選	挙	管	理	委	員	会
---	---	---	---	---	---	---

意味が似ている言葉を

類義語

という。

点

一次の()に下の()の中の類義語から言葉を選び、書き入れなさい。

(10点×6問)

(1) 家に()あがる()。

のぼる あがる

(2) 山に()のぼる()。

(3) 窓を()しめる()。

とじる しめる

(4) 傘を()とじる()。

(5) 腕を()まくる()。

まくる めくる

(6) 表紙を()めくる()。

二次の()に示した類義語から適切な言葉を選び、記号に○をつけなさい。

(10点×4問)

(1) 弟が()目的 / ()**目標**()とするのは先輩です。

(2) ()**意外** / 案外()な結末に驚く。

(3) 大会で技を()争う / ()**競う**()。

(4) 壊れたおもちゃを()直す / ()**直す**()。

一次の語の類義語としてあてはまるものを一つ選び、○で囲みなさい。
(10点×10問)

点

(1) 終了 ()
() 終末 終活 終日 () 終結 ()

(2) 決定 ()
() 決心 () 決断 () 決意 () 決着 ()

(3) 応援 ()
() 援助 () 支援 () 後援 () 救援 ()

(4) 意義 ()
() 意見 () 意向 () 意味 () 意気 ()

(5) 運送 ()
() 運用 () 運営 () 運命 () 運輸 ()

(6) 空虚 ()
() 空疎 () 空気 () 空想 () 空論 ()

(7) 返事 ()
() 返却 () 返済 () 返答 () 返還 ()

(8) 特色 ()
() 特別 () 特殊 () 特異 () 特徴 ()

(9) 不平 ()
() 不在 () 不滅 () 不服 () 不休 ()

(10) 予想 ()
() 予定 () 予測 () 予備 () 予期 ()

多義語

一つの語で多くの意味や用法をもつ語を

という。

点

一次の―線の多義語の意味を、下の選択肢からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(10点×10問)

(1) 「はずむ」

- ① ボールがよくはずむ。(ウ)
- ② 小遣いをはずむ。(イ)
- ③ おしゃべりがはずむ。(ア)

- ア 勢いにのる。
- イ お金を多く出す。
- ウ 跳ね返る。

(2) 「みる」

- ① みそ汁の味をみる。(ウ)
- ② 妹の面倒をみる。(ア)
- ③ ひまわりをみる。(イ)
- ④ ばかをみる。(エ)

- ア 世話をする。
- イ 目でとらえる。
- ウ 調べる。
- エ 経験する。

(3) 「かける」

- ① はしをかける。(ウ)
- ② 人に迷惑をかける。(ア)
- ③ 時間をかける。(イ)

- ア およぼす。
- イ 十分使う。
- ウ 設ける。

反対の意味になる言葉を

対義語

という。

点

一 次の一線の対義語を () () に答えなさい。(10点×5問)

- (1) 行きは電車で、(帰り) () はバスだった。
- (2) 大きい箱も、(小さい) () 箱もあった。
- (3) この山は、A山より高いが、B山より(低い) ()。
- (4) 学校は、駅からは近いが、家からは(遠い) ()。
- (5) 玄関で靴を脱ぎ、スリッパを(はき) () なさい。

二 次の各文と同じ内容を表す文を、例にならって、一線の対義語を使って書きかえなさい。(10点×5問)

(例) 私は母にハンバーグの作り方を習った。

(母は私にハンバーグの作り方を教えた。)

- (1) 姉は先生から本を借りた。
(先生は姉に本を貸した。)
- (2) テレビは本棚の左にある。
(本棚はテレビの右にある。)
- (3) ノートは教科書の下にある。
(教科書はノートの上にある。)
- (4) 父は友人から車を買った。
(友人は父に車を売った。)
- (5) 兄の辞書は妹の辞書よりも古い。
(妹の辞書は兄の辞書よりも新しい。)

一次の漢字の対義語を答えなさい。(5点×10問)

(1) 以上 ⇕ 以下

(2) 屋内 ⇕ 屋外

(3) 下校 ⇕ 登校

(4) 後輩 ⇕ 先輩

(5) 最初 ⇕ 最後

(6) 出荷 ⇕ 入荷

(7) 短所 ⇕ 長所

(8) 退場 ⇕ 入場

(9) 南極 ⇕ 北極

(10) 洋食 ⇕ 和食

二次の漢字の対義語を下の語群から選び、答えなさい。(5点×10問)

(1) 安全 ⇕ 危険

(2) 解散 ⇕ 集合

(3) 失敗 ⇕ 成功

(4) 単純 ⇕ 複雑

(5) 特別 ⇕ 普通

(6) 南下 ⇕ 北上

(7) 本番 ⇕ 練習

(8) 無効 ⇕ 有効

(9) 優越 ⇕ 劣等

(10) 老人 ⇕ 若者

- 危険
- 練習
- 若者
- 複雑
- 集合
- 北上
- 成功
- 劣等
- 普通
- 有効

点

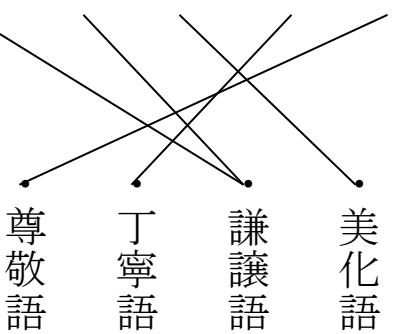
一 次の(1)～(10)の空欄にあてはまる特定の形の敬語を書き、表を完成させなさい
 (5点×10問)

		尊敬語		謙譲語	
行く・来る	(1) いらっしゃる	参る・うかがう			
いる	(2) おいでになる	おる			
言う・話す	おっしゃる	(3) 申す 申しあげる			
見る	ご覧になる	(4) 拝見する			
食べる・飲む	(5) 召しあがる	いただく			
する	(6) なさる	いたす			
くれる	くださる	(7) いただく			
もらう		(8) あげる			
与える・やる		(9) 伺う 承る			
聞く		(10) 存じる			
知る・思う					

点

二 線部の敬語の種類を下から選び、線でつなぎなさい。ただし謙譲語は
 答えが二つあります。(10点×5問)

- (1) 校長先生がもうすぐいらっしゃる。
- (2) まもなく開演でございます。
- (3) ベランダに素敵なお花を飾る。
- (4) 会長のお話をうかがう。
- (5) ご伝言を承りました。



尊
敬
語

話題の中の動作・行為をする人に対して敬意を表す敬語を
という。

点

※ 敬語①の表の言葉を使って答えましょう。

一 次の——線部の言葉を尊敬語に直しなさい。(10点×5問)

- (1) 来賓の方が話す。 () おっしゃる
- (2) お客様がスープを食べる。 () 召しあがる
- (3) 山田先生がこちらにいるのを見ました。 () いらっしゃる おいでになる
- (4) 校長先生が絵を見る。 () ご覧になる
- (5) 社長が本社へ来る。 () いらっしゃる おいでになる

二 次の——線部の尊敬語の使い方が正しければ○を、間違っていれば正しく書き直しなさい。(10点×5問)

- (1) 先生、お茶をいただきますか。 () 召しあがりますか
※「いただきます」は謙讓語。
- (2) 社長が申されました。 () おっしゃいました
※「申す」は謙讓語。「される」は使用しない。
- (3) お降りの方はございませんか。 () いらっしゃいませんか
※「いらっしゃいます」は丁寧語。
- (4) 校長先生は本をお読みになる。 () ○
- (5) 鈴木様にご着席なさいました。 () ○

動作・行為の受け手への敬意を表す敬語を
という。

謙
譲
語

点

※ 敬語①の表の言葉を使って答えましょう。

一次の——線部を謙譲語に直しなさい。(10点×5問)

- (1) 母が職員室へ行く。()
() うかがう ()
- (2) 先生に学級会の結論を話す。()
() 申しあげる ()
- (3) 私はお寿司を食べる。()
() いただく ()
- (4) 姉が手紙を見る。()
() 拝見する ()
- (5) 私が伝言を聞く。()
() うかがう 承る ()

二次の——線部の謙譲語の使い方が正しければ○を、間違っていれば正しく書き直しなさい。(10点×5問)

※ いらつしやるは尊敬語。

- (1) 山田は、席をはずしていらつしやいます。()
() おります ()

※ もらえますか」は丁寧語。

- (2) 学校の名前を教えてください。()
() いただけますか ()

- (3) 教頭より申し上げます。()
() ○ ()

- (4) 私が承ります。()
() ○ ()

- (5) 母が中村先生にお会いになる。()
() お会いする ()

※ おゝなる」は尊敬語。

話し手が聞き手に対して敬意を表す敬語を
という。

丁寧語

点

一次の——線部を丁寧語に直しなさい。(10点×5問)

- (1) 今日は水曜日だ。 () です
- (2) わたくしは山田だ。 () です でございます ()
- (3) 私が行く。 () 行きます ()
- (4) 内田さんが歌う。 () 歌います ()
- (5) 猫の名前はタマだ。 () です でございます ()

美化語

という。

接頭語「お」「ご」を使って、上品に美しく使う言葉を

二次の——線部を美化語に直しなさい。(10点×5問)

- (1) ここに花を飾りましょう。 () お花 ()
- (2) 本はよくお読みになりますか。 () ご本 ()
- (3) みそ汁が熱くなっていますので、気をつけてください。 () おみそ汁 ()
- (4) 住所をお書きください。 () ご住所 ()
- (5) 菓子を買ってきました。 () お菓子 ()

一 次の——線部の敬語の種類は、あとのア～ウのどれにあたりますか。それぞれ選んで、記号で答えなさい。(10点×5問)

点

(1) お客様、この記念品をさしあげます。

イ

(2) あの方のおっしゃるとおりです。

ア

(3) 本当に、今日はよいお天気です。

ウ

(4) 写真はご覧になりましたか。

ア

(5) 原稿を受け取りにまいります。

イ

ア 尊敬語

イ 謙讓語

ウ 丁寧語

二 次の各文の空欄に適切な表現をあとからそれぞれ選んで記号を○で囲みなさい。
(10点×5問)

(1) お客様、今朝は何を

。

ア 食べましたか

イ

召し上がりましたか

ウ いただきましたか

(2) あとで私のほうから連絡に

。

ア うかがいます

イ なさいます

ウ 行かれます

(3) 先生のお宅でお茶を

。

ア 飲みました

イ 飲ませられました

ウ

いただきました

(4) その件について、私は

。

ア 知りません

イ

存じません

ウ ご存じありません

(5) 祖母は賛成だと

。

ア おっしゃっております

イ っております

ウ

申しております

※ 敬語①の表の言葉を使って答えましょう。

点

一次の——線部を正しい敬語に書き直しなさい。(10点×5問)

- (1) 先生に古典を教えてもらいました。 () いただき ()
- (2) あなたの言う通りです。 () おっしゃる ()
- (3) 明日はご自宅にいますか。 () いらっしゃる ()
- (4) 冷めないうちに食べてください。 () 召しあがって ()
- (5) お返事をくれてどうもありがとうございます。 () くださって ()

二次の——線部を正しい敬語に書き直しなさい。(10点×5問)

- (1) 田中さん、おられましたらご連絡ください。 ()
() いらっしゃいましたら
- (2) 私の姉も食事を召し上がりますので、一緒に注文してよろしいですか。
() いただきますので ()
- (3) その話をお伝えしたら、校長先生はそう言いました。
() おっしゃいました ()
- (4) 先生が行くのなら、私はここに残ります。
() いらっしゃるのなら おいでになるのなら ()
- (5) 山田先生が私の作品を拝見します。
() ご覧になります ()

一 次の——線部を文に合わせて尊敬語と謙讓語に書き直しなさい。
ただし、「おくになる」「おくする」の形で書き直すこと。

(10点×5問)

点

- (1) ハンカチを使いますか。 (お使いになり)
- (2) 社長はコーヒーを飲む。 (お飲みになる)
- (3) 校長先生が出かける。 (お出かけになる)
- (4) 私が課長に伝える。 (お伝えする)
- (5) お客様のお荷物を部屋まで運ぶ。 (お運びする)

二 次の会話文を読み、——線部(1)～(5)のうち、敬語の使い方が正しいものには○を、誤っているものは正しく書き直しなさい。(10点×5問)

田中 「もしもし、鈴木さんのお宅でしょうか。」

鈴木 「はい、そうです。」

田中 「私、○○中学校の△△さんの担任の田中と(1)申しませう。
お母様は(2)在宅ですか。」

鈴木 「(2)お母さんは今、買い物に(3)お出かけになっております。
もうすぐ帰ってくると思います。」

田中 「それでは、明日の家庭訪問は予定通り、朝の九時にお宅に
(4)うかがうとお伝えください。」

鈴木 「わかりました。田中先生が明日(5)うかがうと、伝えます。」

田中 「よろしく願います。それでは失礼します。」

鈴木 「失礼します。」

- (1) () ○ ()
- (2) () 母 ()
- (3) () 出かけております ()
- (4) () ○ ()
- (5) () いらっしゃる () おいでになる ()

※ 敬語①の表の言葉を使って答えましょう。

一 次の——線部を尊敬語に直して答えなさい。(10点×4問)

(1) お客様がヒマワリを見ています。
() (ご覧になって)

(2) 松本先生が向こうから歩いてくる。
() (いらっしゃる おいでになる)

(3) もう昼食は食べましたか。
() (召しあがり)

(4) あなたが言ったのです。
() (おっしゃった)

二 次の——線部を謙讓語に直して答えなさい。(10点×3問)

(1) 母は今、家にいません。
() (おりません)

(2) 私もそちらに行きます。
() (うかがい まいり)

(3) ゆっくりと見たいと思います。
() (拝見し)

三 次の——線部を丁寧語もしくは美化語に直して答えなさい。(10点×3問)

(1) クラス対抗レリーでぼくは三百メートルを走る。
() (走ります)

(2) それだ、ぼくが考えていたことは。
() (です)

(3) 今日は、弁当はいらない。
() (お弁当)

点

一 次の会話文における——線部は誰に対する敬意を表していますか。後からそれぞれ選び、記号で答えなさい。(10点×5問)

佐藤さん 「先生に同窓会の招待状をさしあげました。」

(1) (ア)

鈴木さん 「そうですか。返事はきましたか？」

(2) (イ)

佐藤さん 「はい。先生はいらっしゃるそうです。」

(3) (ア)

ア 先生 イ 佐藤さん ウ 鈴木さん

田中さん 「加藤さんの描かれた絵が入選して、美術館に展示されています。」

(4) (ウ)

山本さん 「はい。とても素晴らしい絵でした。」

田中さん 「あの絵は、社長にさしあげるそうですよ。」

(5) (ア)

ア 社長 イ 田中さん ウ 山本さん エ 加藤さん

二 次の——線部の敬語表現が正しければ○、誤っているものには×と答え、正しく書き直しなさい。(10点×5問)

(1) 校長先生が申されました。 (おっしゃいました)

(2) 社長はお帰りになりました。 ()

(3) お茶を飲みましょう。 ()

(4) 私は野菜を食べます。 ()

(5) お客様、どうぞいただきます。 (召し上がってください)

点

一 次の——線部を適切な表現に書き直しなさい。

(10点×5問)

(1) 僕が会社へうかがいます。
(私)

()

点

(2) お客様がよろしければ、自分のほうはかまいません。
(私)

()

(3) シャツのおえりを、お直しします。
(えり)

()

(4) ごめんください。木村さんでございますか。
(いらっしやいますか)

()

(5) 失礼ですが、しばらく待つてください。
(お待ちください)

()

二 次の——線の敬語を正しく書き直しなさい。(10点×5問)
※ この問題は敬語①の表の言葉を使って答えましょう

(1) 母はすぐいらっしやいます。
(参ります)

()

(2) お客様、何か食べますか。
(召しあがりますか)

()

(3) 校長先生に色紙をもらいました。
(いただきました)

()

(4) 先生が待つようにと申されました。
(おっしやいました)

()

(5) 社長、これから何をする予定ですか。
(なさる予定ですか)

()